

2021年12月2日
東京海上日動システムズ株式会社

2021年度IT賞の受賞

東京海上日動システムズ株式会社(代表取締役社長 関 邦夫)は、公営社団法人企業情報化協会(以下「IT協会」)主催の2021年度(第39回)IT賞において、「フルリモートでのスクラム開発への挑戦とニューノーマルへの対応」をテーマに応募し、今年度特設された「ニューノーマルへの対応領域」にてIT賞を受賞しました。

1. IT賞について

わが国の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“ITを高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、公益社団法人企業情報化協会が授与するものです。昭和58年の第1回より今回で39回目の開催となります。



【ご参考】IT協会WEBサイト <https://www.jiit.or.jp/im/award.html>

2. 当社の具体的な取組

東京海上グループでは、DX推進に向けて、ビジネス部門や経営を巻き込みながら複数の大規模アジャイル案件をマネージするフレームワークを構築し、体系的・戦略的にプロジェクトを進めています。当社では、アジャイル開発手法としてスクラム開発を採用し、開発関係者が同じ空間に席を置き、密な対話を通じてスピーディーに意思決定しながらサービスを作り上げてきました。

緊急事態宣言下において、対面での密なコミュニケーションが困難になりましたが、中途半端な在宅勤務がスクラムで重要なコミュニケーション面の逆効果になると考え、徹底的な在宅勤務の中で同じパフォーマンスを発揮することに挑戦し、実現しました。

本取組が、ニューノーマル時代の新しい働き方や、DX・アジャイル開発に取り組む他の多くの会社の一助になるものとして、評価をいただいたものと考えております。引き続き、ビジネス変革をリードするバリューパートナーを目指し、新しい取り組みに積極的に挑戦してまいります。

以上